

## 平成25年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	ゼミナールⅢ(Seminar Ⅲ)	授業コード	E002617
担当教員名	吉本 圭一郎		
配当学年	3	開講期	前期
必修・選択区分	必修	単位数	4
履修上の注意または履修条件	特にありません。		
受講心得	無断欠席をしないようにしてください。ゼミを欠席する場合は、必ず事前に連絡をするようにしてください。		
教科書	ゼミで指示します。		
参考文献及び指定図書	ゼミで指示します。		
関連科目	簿記・会計に関する科目		

授業の目的	本ゼミでは、簿記・会計学の専門的学習を通じて、ものの見方や考え方、特にものごとを相対化して考える能力を養っていきます。また、課題発表や議論を積極的に行うことで、プレゼン能力や他者とのコミュニケーション能力の向上も目的としています。
授業の概要	本ゼミでは、簿記・会計を中心に専門的に学習していきます。各自のテーマに基づいて調査をし、レジュメを作成してプレゼンを行い、みんなで議論をしていきます。また、日商簿記検定試験など関連資格取得についても積極的に支援していきます。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
<b>第1週：オリエンテーション</b> 授業の進め方、注意事項などの説明をします。	配布資料
<b>第2週：プレゼン説明・準備</b> 発表担当者の振り分けや調査の仕方などを説明します。	配布資料
<b>第3週：課題発表・研究</b> 簿記・会計の専門的習得を通じて、ものの見方や考え方、特にものごとの相対化能力を養っていきます。課題発表の時は、担当者はレジュメを作成してください。	配布資料
<b>第4週：課題発表・研究</b> 簿記・会計の専門的習得を通じて、ものの見方や考え方、特にものごとの相対化能力を養っていきます。課題発表の時は、担当者はレジュメを作成してください。	配布資料
<b>第5週：課題発表・研究</b> 簿記・会計の専門的習得を通じて、ものの見方や考え方、特にものごとの相対化能力を養っていきます。課題発表の時は、担当者はレジュメを作成してください。	配布資料
<b>第6週：課題発表・研究</b> 簿記・会計の専門的習得を通じて、ものの見方や考え方、特にものごとの相対化能力を養っていきます。課題発表の時は、担当者はレジュメを作成してください。	配布資料
<b>第7週：課題発表・研究</b> 簿記・会計の専門的習得を通じて、ものの見方や考え方、特にものごとの相対化能力を養っていきます。課題発表の時は、担当者はレジュメを作成してください。	配布資料
<b>第8週：課題発表・研究</b> 簿記・会計の専門的習得を通じて、ものの見方や考え方、特にものごとの相対化能力を養っていきます。課題発表の時は、担当者はレジュメを作成してください。	配布資料
<b>第9週：課題発表・研究</b>	

簿記・会計の専門的習得を通じて、ものの見方や考え方、特にものごとの相対化能力を養っていきます。課題発表の時は、担当者はレジュメを作成してください。		配布資料
<b>第10週：課題発表・研究</b> 簿記・会計の専門的習得を通じて、ものの見方や考え方、特にものごとの相対化能力を養っていきます。課題発表の時は、担当者はレジュメを作成してください。		配布資料
<b>第11週：課題発表・研究</b> 簿記・会計の専門的習得を通じて、ものの見方や考え方、特にものごとの相対化能力を養っていきます。課題発表の時は、担当者はレジュメを作成してください。		配布資料
<b>第12週：課題発表・研究</b> 簿記・会計の専門的習得を通じて、ものの見方や考え方、特にものごとの相対化能力を養っていきます。課題発表の時は、担当者はレジュメを作成してください。		配布資料
<b>第13週：課題発表・研究</b> 簿記・会計の専門的習得を通じて、ものの見方や考え方、特にものごとの相対化能力を養っていきます。課題発表の時は、担当者はレジュメを作成してください。		配布資料
<b>第14週：課題発表・研究</b> 簿記・会計の専門的習得を通じて、ものの見方や考え方、特にものごとの相対化能力を養っていきます。課題発表の時は、担当者はレジュメを作成してください。		配布資料
<b>第15週：まとめ</b> これまでの振り返りを行います。		配布資料
<b>第16週：期末試験</b>		
授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
備考		

<b>○単位を修得するために達成すべき到達目標</b>	
<b>【関心・意欲・態度】</b>	
<b>【知識・理解】</b>	簿記・会計の専門的知識・技術が身についている。
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b>	自分の意見を明確に伝える能力がある。
<b>【思考・判断・創造】</b>	ものごとを深く相対的に考え、行動する能力がある。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等(テスト)	レポート・作品等(提出物)	発表・その他(無形成果)	
<b>【関心・意欲・態度】</b> ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。				
<b>【知識・理解】</b> ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。		20点		
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b> ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		40点		
<b>【思考・判断・創造】</b> ※「考え抜く力」を含む。		40点		
<b>(「人間力」について)</b> ※以上の観点到、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等(提出物)	授業時に課題やレポートを出しますので、必ず提出してください。達成水準の目安は以下の通りです。 Sレベル…単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 Aレベル…単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 Bレベル…単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 Cレベル…単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。
発表・その他(無形成果)	